

登録番号 第 13290 号

カルホス®粉剤

●ネキリムシ類・コガネムシ類幼虫などの土壌害虫を的確に防除します。

特長： ●大豆などの害虫に有効です。

●接触毒により土壌害虫に有効でそのまま使えます。

カルホスは保土谷 UPL(株)の登録商標です。

有効成分	イソキサチオン（化管法第1種）・・・2.0%	包装	1kg×20
その他化管法該当成分	－		
性状	類白色粉末 45μm以下	有効年限	4年
毒性	普通物※	危険物	－

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用病害及び使用方法】

作物名	適用病虫害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数
だいこん	タネバエ ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時	1回	土壌表面散布土壌 混和处理	1回
はつかだいこん	タネバエ ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時	1回	土壌表面散布土壌 混和处理	1回
はくさい	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時又 は植付時	1回	土壌表面散布土壌 混和处理	1回
キャベツ	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時 又は植付時	1回	土壌表面散布土壌 混和处理	1回
ねぎ	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時 又は植付時	2回以内	土壌表面散布土壌 混和处理	4回以内 (は種時は1回以内、 植付時は1回以内、 植付後は2回以内)
わけぎ	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時 又は植付時	2回以内	土壌表面散布土壌 混和处理	2回以内
あさつき	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時 又は植付時	2回以内	土壌表面散布土壌 混和处理	2回以内
レタス	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時 又は植付時	2回以内	土壌表面散布土壌 混和处理	2回以内
非結球レタス	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時 又は植付時	2回以内	土壌表面散布土壌 混和处理	2回以内
トマト	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時 又は植付時	2回以内	土壌表面散布土壌 混和处理	2回以内
ミニトマト	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時 又は植付時	2回以内	土壌表面散布土壌 混和处理	2回以内

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数
なす	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時 又は植付時	2 回以内	土壌表面散布土壌 混和处理	2 回以内
きゅうり	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時 又は植付時	1 回	土壌表面散布土壌 混和处理	1 回
	タネバエ	4～6kg/10a (4～6g/m ²)	は種時			
ほうれんそう	タネバエ	4～6kg/10a (4～6g/m ²)	は種時	1 回	播溝土壌混和	1 回
なばな類 (オータムポエムを 除く)	ヨトウムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時	1 回	土壌表面散布土壌 混和处理	1 回
オータムポエム	ヨトウムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	は種時	1 回	土壌表面散布土壌 混和处理	1 回
	ネキリムシ類		定植時		土壌表面散布	
だいず	タネバエ	4～6kg/10a (4～6g/m ²)	は種時	1 回	作条施用土壌混和	2 回以内
	ネキリムシ類		は種時 又は定植時	2 回以内		
	ネキリムシ類	4kg/10a (4g/m ²)	は種時～本 葉 2 葉期		土壌表面散布	
えだまめ	タネバエ ネキリムシ類	4～6kg/10a (4～6g/m ²)	は種時	1 回	作条施用土壌混和	5 回以内 (粉剤及び粉粒剤のは種時 の処理は合計 1 回以内、 粉剤及び粉粒剤の定植時 は合計 1 回以内、 粉剤の土壌表面散布は 1 回以内、 粒剤の土壌表面株元処理 は 2 回以内)
	ネキリムシ類		定植時		土壌表面散布	
	ネキリムシ類	4kg/10a (4g/m ²)	は種時～本 葉 2 葉期			
豆類 (種実、ただし、だい ずを除く)	タネバエ ネキリムシ類	4～6kg/10a (4～6g/m ²)	は種時	1 回	作条施用土壌混和	1 回
さやえんどう	コガネムシ類幼 虫	9kg/10a (9g/m ²)	は種時	1 回	作条施用土壌混和	1 回
さやいんげん	タネバエ	6kg/10a (6g/m ²)	は種時	1 回	作条施用土壌混和	1 回
実えんどう	コガネムシ類幼 虫	9kg/10a (9g/m ²)	は種時	1 回	作条施用土壌混和	1 回
いちご(仮植床)	コガネムシ類幼 虫	9kg/10a (9g/m ²)	植付時	1 回	土壌表面散布土壌 混和处理	1 回
うど	センノカミキリ	6kg/10a (6g/m ²)	成虫飛来初 期～盛期	5 回以内	散布	5 回以内
ほうきぎ	ネキリムシ類	6kg/10a (6g/m ²)	定植時	1 回	株元散布	1 回

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数
たばこ	ネキリムシ類	6～9kg/10a (6～9g/m ²)	植付前	1 回	土壌表面散布土壌混和处理	2 回以内

使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- (2) 本剤は地表面全面に均一に散布し、表層土壌とよく混和すること。作条処理の場合は、は種又は植付ける作条になるべく幅広く散布し、土壌とよく混和すること。植穴(播穴)処理はさけること。
- (3) DCPA 剤との同時施用及び 10 日以内の近接散布は薬害を生ずるおそれがあるのでさけること。
- (4) いちごに使用する場合は、仮植床で使い、床面全面に均一に散布して表土とよく混和すること。
- (5) うどのセンノカミキリの防除に使用する場合、地際部によくかかるよう散布すること。
- (6) つまみ菜・間引き菜には使用しないこと。
- (7) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (8) ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
- (9) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及びPAM 製剤が有効であると報告されている。
- (2) 散布の際は農薬用マスクなどを着用すること。作業後はうがいをすること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常的使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。